



平成 25 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名： 株式会社ベネッセホールディングス
代表者名： 代表取締役社長 福 島 保
(コード番号： 9 7 8 3 東証第一部)
問合せ先： 広報・IR部長 増 本 勝 彦
(TEL： 0 3 - 5 3 2 0 - 3 5 0 5)

連結子会社の株式譲渡契約締結及びライセンス契約締結のお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社の完全子会社である Benesse Korea Co., Ltd. (本社：大韓民国ソウル市、代表取締役社長：孫 昌範、以下「ベネッセ코리아」) の全株式を Korea Yakult Co., Ltd. (本社：大韓民国ソウル市、代表取締役社長：金 赫秀、以下「韓国ヤクルト」) に譲渡することを決議致しましたので、お知らせ致します。

また、当社グループと韓国ヤクルトグループがパートナーシップを組み、当社の完全子会社である株式会社ベネッセコーポレーション (本社：岡山県岡山市、代表取締役社長：明田 英治、以下「ベネッセ」) が日本において企画・編集・販売する幼児向け通信教育講座「こどもちゃれんじ」の韓国版「i-challenge」の事業を行っていくため、ベネッセとベネッセ코리아の間で「i-challenge」に関するライセンス契約を締結致しましたので、併せてお知らせ致します。

記

1. 株式譲渡の理由

ベネッセ코리아は、平成 16 年 7 月に当社の完全子会社として設立され、「こどもちゃれんじ」の韓国版である「i-challenge」を主要な事業として拡大して参りました。しかし、韓国における事業環境が厳しさを増す中で、ベネッセ코리아単独でのこれ以上の大きな事業成長は難しく、今後更なる発展を目指していくためには、シナジー効果の見込める現地の新たなパートナーとの提携を検討すべきと判断致しました。

その結果、韓国ヤクルトとパートナーシップを組み、そのブランド力と販売力を活用し、営業力の強化を図ることが、ベネッセ코리아の更なる事業成長に資すると判断し、この度、韓国ヤクルトと株式譲渡契約を締結し、当社の保有するベネッセ코리아全株式を譲渡することと致しました。また併せて、ベネッセとベネッセ코리아の間で「i-challenge」事業に関するライセンス契約を締結し、「i-challenge」事業をライセンスビジネス化することと致しました。

韓国ヤクルトは、「健康な社会の創造」を創業理念とし、発酵乳の専門企業として 1969 年に設立され、半世紀の間韓国の乳加工産業をリードし、高いマーケットシェアで韓国における発酵乳ナンバーワンブランドの座を守ってきております。韓国ヤクルトは、現在発酵乳専門企業から、牛乳、果汁飲料、健康機能

食品などに商品ポートフォリオを多角化しながら、総合健康企業として成長しております。また、全国に12の支店、600ヶ所の営業店と、約1万3千人に及ぶ訪問営業組織を持っており、高水準のR&BD技術と独自の流通網、先導企業としての市場支配力、身近なブランドイメージで、韓国を代表する総合健康企業です。

当社においては、経営効率を向上させるべく、グループ全体での経営資源の選択と集中を進めておりますが、本件によって「i-challenge」事業をライセンスビジネスに転換することにより、韓国ヤクルトの販売力を活用して事業を拡大しつつ、安定的なロイヤリティ収入を確保することを考えております。

2. 株式譲渡のスキームについて

当社は、韓国ヤクルトとの間で締結する株式譲渡契約に従い、株式譲渡実行日（平成25年11月29日（予定））をもって、当社の保有するベネッセコリアの発行済株式の全部を、韓国ヤクルトに譲渡する予定です。

3. 異動する子会社（ベネッセコリア）の概要

(1) 名称	Benesse Korea Co., Ltd.			
(2) 所在地	ソウル市江南区駅三洞 736-17			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 孫 昌範			
(4) 事業内容	韓国版こどもちゃれんじ「i-challenge」の企画・編集・販売			
(5) 資本金	20億ウォン			
(6) 設立年月日	平成16年7月2日			
(7) 大株主及び持株比率	株式会社ベネッセホールディングス 100%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社は、ベネッセコリアの株式の100%を保有しております。		
	人的関係	当社完全子会社のベネッセより、ベネッセコリアに取締役3名、監査役1名を派遣しております。		
	取引関係	当社から、ベネッセコリアに経営管理、商標使用の許諾を行う契約を締結している他、当社からベネッセコリアへの貸付及びベネッセコリアと第三者との間の取引に対して保証を行っております。また、ベネッセよりベネッセコリアに「i-challenge」に関するライセンスを付与、その他教具等の販売を行っております。		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態				
	決算期	平成22年12月期	平成23年12月期	平成24年12月期
純資産		▲599億ウォン	▲621億ウォン	▲643億ウォン
総資産		108億ウォン	125億ウォン	139億ウォン
1株当たり純資産		▲149千ウォン	▲155千ウォン	▲160千ウォン
売上高		417億ウォン	416億ウォン	402億ウォン

営業利益	▲22億ウォン	0億ウォン	2億ウォン
経常利益	▲49億ウォン	▲22億ウォン	▲19億ウォン
当期純利益	▲49億ウォン	▲22億ウォン	▲19億ウォン
1株当たり当期純利益	▲12,317ウォン	▲5,669ウォン	▲4,976ウォン
1株当たり配当金	—	—	—

4. 株式譲渡先（韓国ヤクルト）の概要

(1) 名称	Korea Yakult Co., Ltd.	
(2) 所在地	ソウル市 瑞草区 蚕院洞 28-10	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 金 赫秀	
(4) 事業内容	発酵乳、牛乳、健康機能食品の製造及び販売	
(5) 資本金	500億ウォン	
(6) 設立年月日	1969年11月27日	
(7) 純資産	8,107億ウォン	
(8) 総資産	9,714億ウォン	
(9) 大株主及び持株比率	株式会社 Paldo 40.83% 株式会社ヤクルト本社 38.30% 尹 豪重 17.77%	
(10) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

5. 譲渡株式数及び譲渡前後の所有株式の状況

(1) 譲渡前の所有株式数	400,000株（所有割合：100%）
(2) 譲渡株式数	400,000株（所有割合：100%）
(3) 本件譲渡の対価	400,000ウォン （なお、譲渡に係る諸費用として約214百万ウォンを別途支払う予定です。）
(4) 譲渡後の所有株式数	0株（所有割合：0%）

6. 日程

(1) 取締役会決議日	平成25年10月31日
(2) 契約締結日	平成25年10月31日
(3) 株式譲渡実行日	平成25年11月29日（予定）

7. 今後の見通し（業績に与える影響）

連結決算上、本件譲渡により約 15 億円の特別利益を計上する見込みです。

以 上

（参考）当期連結業績予想（平成 25 年 10 月 31 日公表分）及び前期連結実績

（百万円）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
当期連結業績予想 （平成 26 年 3 月期）	470,000	34,600	34,100	19,000
前期連結実績 （平成 25 年 3 月期）	450,182	38,145	38,995	21,147

将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。